

令和7年度 岡崎市博物資料収集委員会会議録

1 開催日時

令和7年8月28日（木） 午後2時から午後4時15分まで

2 開催場所

美術博物館1階会議室

3 出席委員

小池富雄委員長・鷹巣純委員・仲野泰裕委員・松島周一委員・小早川道子委員

4 説明のため出席した事務局職員

榊原悟特任館長・大澤一実館長・原林基昭副館長兼学芸係長

湯谷翔悟主査・山下葵主事・安本翔音主事・井原凜事務員・伊藤久美子会計年度任用職員

5 会議の成立

委員5名全員出席のため、岡崎市博物資料収集委員会要綱第4条第2項の規定により、会議の成立を確認した。

6 会議の公開・非公開について

岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。

7 会議の内容

収集候補資料7件（購入1件、寄附3件、寄託3件）について、事務局から説明した後、資料を実見した。

審議の結果、上記の資料について、全会一致で収集が妥当との結論が出た。委員の意見等は以下のとおり。

【購入資料】

・調書番号1－1 徳川十六将図

幕末に制作された意味や尾張藩との関連、徳川氏の捉え方など、多くの検討すべき材料を提供してくれる資料である。十六将図は館独自の切り口として広がりを持つものであり、収蔵するその他の作例と比較して調査研究を進めてもらいたい。

表具に傷みが見られるので、修復を施して美しい状態で展示に供してほしいが、活用できる資料であり、受入れに異議はない。

【寄附資料】

・調書番号2－1 清水家資料

雨山合戦に関する資料は、過去に地域であった出来事を伝承として伝えようとした事実を示すもので貴重。源頼朝関係の資料は偽文書であるが、だからこそ重要で、作成の背景も踏まえ、地域の歴史を語るうえで大切な資料。また、甲冑や絵図について

はクリーニングや修理を行い、良い状態で保管・展示を図ってほしい。受入れに異議はない。

- ・調書番号 2-2 伊奈家資料

教科書類については、主に女子教育の実態を明らかにする資料が注目できる。女学校等へ進学する女性は当時大変少なかったため、このような資料群は貴重。展示の際は教科書を使用していた人の階層性に留意して展示公開を行ってほしい。

古文書類については、2-3「志賀重昂二行書」を所有していた谷口久次郎の存在を裏付ける志賀重昂の書簡を含め、地域の歴史にとって重要な資料である。受入れに異議はない。

- ・調書番号 2-3 志賀重昂二行書

2-2 谷口久次郎宛の志賀書簡との関係性がわかるものである。地域に縁のある人物の資料であり、地元でしっかりと残しておくべきである。受入れに異議はない。

【寄託資料】

- ・調書番号 3-1 西照寺資料

寺に伝来した資料ではないが、既存の図様を組み合わせ夢の中の光景を描いたものであり、館のコンセプトの「マインドスケープ」とも親和性がある。経巻も館として収蔵するにふさわしい資料であり、受入れに異議はない。

- ・調書番号 3-2 岩附家資料

愛知県の歴史を考える上で重要な資料群である。近世の系図には名が乗らない人物を確認することができ、松平研究を進める上でも貴重である。

これだけの新発見や家康文書の原本がまとまって発見されること自体が稀なことであり、しっかり調べて展示公開を行ってほしい。受入れに異議はない。

- ・調書番号 3-3 東本郷町区有文書（追加）

水論に関する資料など、当時の地域の動きがわかり貴重。すでに受託しているものとあわせて、全体像をまとめて、研究や展示に活かしてほしい。受入れに異議はない。